

ボランティアさん大募集～!!

こどもと遊ぶのが好きな方、事務局のお手伝いを一緒にして下さる方、お待ちしております。

よろしくお願ひ致します。

アドレス: power-of-children@ezweb. ne. jp



<後援会員 & 寄付募集中です!>

この団体の活動は、みなさまの会費と寄付金で行っています。
ご理解とご協力をお願いいたします。

後援会員費 … ご入会頂くと「こどものちから通信」をお届けします。

◎個人 3,000 円/年 ◎団体(1口) 10,000 円/年

ご 寄 付 … みなさまのあたたかいお気持ちは、きょうだいさんの笑顔を増やす活動に大切に活用させていただきます。

◎こどものちからの一年は、4月から翌年3月までです。(^_^)

郵便振替番号：00170-7-571697

□ 座 名：特定非営利活動法人こどものちから

お問い合わせは、住所：〒136-0073 東京都江東区北砂5-20-18-211

Tel：080-6867-6135 アドレス: power-of-children@ezweb. ne. jp

Facebook：<https://www.facebook.com/kodomonotikara>

「特定非営利活動法人こどものちから」事務局までお願ひ致します。

<ご寄付>ありがとうございました。

◎認定NPO法人グッド・トイ委員会・難病のこども支援全国ネットワーク複数の個人の方
<小児待合室活動日>…きょうだい・患児・家族に遊んでもらいます。

毎週月曜日・木曜日、第2土曜日・第4日曜日 午前11時～午後2時

<協力団体>※カフェ・アリエッタ

<発行>「NPO法人こどものちから」事務局

〒136-0073 東京都江東区北砂5-20-18-211

TEL：080-6867-6135 アドレス: power-of-children@ezweb. ne. jp

病院に連れて来られても病棟に入れないうだいさんに

遊んでもらう活動をしています。

こどものちから



<事務局・斉藤晴美 作>

NO. 9 2015. 6月発行

待合室に「ハーモニカ自動販売機」が

やってきた!!



4月21日(火)江東区森下文化センターにて、Miracle Breath 主催、ハーモニカチャリティコンサートが開催されました。そこでの収益で、自らの息がそのまま音になる楽器ハーモニカを病気と闘う子ども達やきょうだいさんにプレゼントして下さるためのコンサートです。どの演奏も素晴らしく2時間があったという間でした。

また会場では来場された方に「こどものちから」の活動をして頂くためにパネルを使って待合室での活動の様子やイベントの紹介をしました。

5月4日(月)と7日(木)の2日間、伊藤かなさんがハーモニカの贈呈式も兼ね、かわいいハーモニカ自動販売機を持って、待合室に来てくれました!

子ども達が特製のコインを自動販売機に入れて曲のリクエスト。さっそく自動販売機の中のかなさんが演奏してくれます。

「アンパンマン」「きしゃ」「森の熊さん」他、待合室にハーモニカの優しい音色が響きました。

演奏の後はかなさんからハーモニカのプレゼント!!

吹き方を教えてもらってみんなで演奏会。初めて手にする楽器を吹きながら楽しそうに身体をゆらすちびっ子くん!待合室は、笑い声でいっぱいになりました。

今回参加できなかった子ども達にもプレゼント用のハーモニカを頂きました。

伊藤かなさん! Miracle Breathの皆さん!

本当にありがとうございました。

一緒に参加していたボランティアさんがハーモニカが大好きになって、お母さんと一緒に教室に通い始めたそうです。

時々待合室でもかわいいハーモニカの音色が響くようになりました。(_)



＜活動報告＞

- ◎小児待合室で、きょうだい・患児・家族に遊んでもらいました。
- ◎2014年4月～2015年3月、実施回数126回。参加スタッフ・ボランティアのべ565人。訪問してくれた人達のべ600人(内きょうだいさん144人、患児さん214人、親御さん242人)
- ◎3月8日(日)認定NPO法人グッド・トイ委員会の機関誌に活動紹介掲載
- ◎3月16日(月)月刊がんサポーター4月号に活動紹介掲載。
- ◎3月22日(日)大阪のきょうだい支援団体しぶたね主催「きょうだいさんの日」見学
- ◎4月12日(日)菊川保育園にて、「春の交流会☆2015」実施
- ◎4月21日(火)江東区森下文化センターにて、ホームページ制作に団体紹介ブース出展
- ◎5月4日(月)・7日(木)待合室にて「ホームページ自動販売機による演奏会とホームページ贈呈式」
- ◎5月16日(土)東京ボランティアセンターにて「第3回こどものちから総会」実施
- ◎5月23日(土)～25日(月)認定NPO法人アタス・スクールぱるけ主催「きょうだい支援プロジェクト-養成講座」参加
- ◎6月1日(月)武蔵野大学看護学部にて「病児と家族について」講演
- ◎6月13日(土)東京ボランティア・市民活動センター主催「ボランティア・ダウンス」活動発表
＜今後の予定＞
- ◎7月19日(日)網膜芽細胞腫親の会「すくすく」勉強会保育
- ◎8月8日(土)キャサネット・ジヤソ主催「秋葉がソファ」団体紹介ブース出展
- ◎10月頃「焼きいも&BBQ」詳細は決定しだい連絡いたします。
- ◎11月7日(土)・29日(日)クリスマス工場(カード作り) 詳細は決定しだい連絡いたします。

2014年度会計報告

科目	金額	科目	金額
＜収入の部＞		＜支出の部＞	
会費	168,000	病児や兄弟・家族の支援事業	235,556
寄付金	409,390	兄弟支援に関わる情報発信事業	206,914
助成金(正力厚生会)	472,500	病児・家族等を対象とした交流事業	282,834
助成金(ゆめ応援ファト)	78,000	兄弟支援に関わる勉強会の開催及び学びの機会の提供事業	221,093
助成金(アステラ製薬株式会社)	90,000	その他目的を達成するために必要な事業	0
事業収益(イベント参加費他)	57,407	管理部門	160,889
受取利息	125	合計	¥1,107,286
合計	¥1,275,422	当期正味財産増減額	168,136
		前期繰越正味財産増減額	284,147
		次期繰越正味財産額	¥452,283

<絵本紹介> ～『あ』～



静岡県立こども病院医学図書室 塚田薫代

『あ』（こどものとも絵本）大槻あかね著 福音館 2008
「塚田さんっ！コレ何ですか？」CCU 病棟に入ると、あるパパに呼び止められました。「この絵本、すごいですね！あーって！」すっかりパパを虜にしたのは、針金の彼（？）が主人公のグラフィックな絵本です。彼が綿棒や耳かきに出逢って「あ」「は」「ひょ」と繰り返されるユーモラスな世界がたまりません。パパの一番のお気に入りには赤いビニールテープのひとこまだそうです。彼がテープを押すと「あ——」っと…パパと一緒に読む絵本は格別ですね。

祝！英国王室プリンセス誕生！ 『シャーロットとしろいうま』
ルース・クラウド モーリス・ゼンダック（絵） 富山房 1978
偶然本棚でみつけたのは、シャーロットという名の女の子とこうまの天の川（ミルクウェイ）のお話です。ゼンダックのやさしい絵と相まって素敵です。



<小児待合室で人気のおもちゃ紹介>

「LaQ（ラキュー）は、子どもたちの脳の発育を促進させます。これは、形、色を記憶する場所である側頭連合野、空間位置に関係している頭頂連合野や指や協調運動に関係している小脳や運動野などの発達を育むのです。さらに、LaQ 遊びによって形、色の情報を前頭前野に情報を送り、ここでないものを組み合わせ創造し、手順、意思決定しているのです。私は、LaQ で遊んでいる子どもたちの脳の動きを調べた結果からも、右脳および左脳ともに神経ネットワークが活発化していることを確認しました。LaQ は、脳の発達には理想的な遊びの一つであり推奨できるものです。できれば、親子で会話をしながら遊ぶことが親子の絆も強まり理想的です。」と日本大学教授 医学博士・森 昭雄先生がおっしゃっています。もちろん待合室でも年齢に関係なく大人気で思いがけない素晴らしい作品が次々と生まれています。

井上るみ子



<お友だちの作品すごいでしょ！！>



「こどものちから」お楽しみイベント 第8弾「春の交流会☆2015」

実施日時:2015年4月12日(日) 11時～14時

実施場所:菊川保育園(貸し切り～)

今年の春の交流会は、患児2名、きょうだいさん2名を含め、総勢 28 名が参加しました。「雨でも安心して実施できる場所」東京ボランティアセンターからのご紹介を頂き、墨田区にある保育園をまるごとお借りすることが出来ました。

園庭にはロッククライミングやハンモック・ブランコがあり、体を動かすのには最高～！
と言うことで、遊具で遊んだり、皿回しに夢中になったり…今回は、「親子で楽しむ手作りワークショップ」の講師として『ここはなきっず』の大竹さゆりさんに講師としてきて頂きました。

施設内の床は暖房がほっかほか。広々としたお部屋では、大きな窓が開放感満載。消し判作りのワークショップやハンドトリートメント他、ほぐしのコーナーもあり、ゆったりくつろいでもらいました。ほんのり温かいシュウマイ弁当も美味しかったです。(´_`) 「春」をテーマにビンゴゲームも楽しかったです。



「次はいつなの？」と何度も聞いてくる小学二年生のお兄ちゃん。初対面の二組の家族が、和やかに肩を並べて家路につく後ろ姿。たくさんの方にご協力頂くことで得られた素晴らしい時間でした。無事に実施できたことに感謝いたします。ありがとうございました。

<ハンモックを楽しむちびっ子くん>

<きょうだいに必要なこと> ～こども療養支援士からの提案～

入院しているこどもたちと遊んでいると、きょうだいの名前を耳にする機会が多くあります。

「お兄ちゃんがね、入院用にオススメの音楽でプレイリスト作ってくれたの」

「〇〇(妹)が毎日メールくれる～」

「△△(妹)、家にいるときずーっとくっついてくるんだよ」

「俺の弟って、学校でモテモテなんだよ」

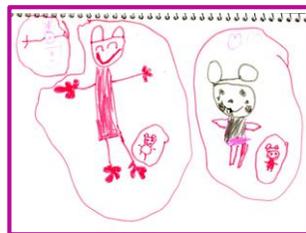
「これ出来上がったら、お姉ちゃんにプレゼントしよう」

「お兄ちゃん、おばあちゃん家でちゃんといい子にしているかな～？

宿題全部終わったかな？」

「お姉ちゃん、めっちゃ絵うまいんだよ!!!」…などなど。

きょうだいや優しいこと、いっしょにした楽しかったこと、ケンカしたこと、きょうだいを心配に思う気持ち、誇らしく思う気持ち…、みんなきょうだいへの想いについていろいろなお話を聞かせてくれます。



国立がん研究センター中央病院の小児腫瘍科では、できるだけお家にいながら治療を受けられるよう、患者さんのお家の近くのクリニックの先生と連携を図り、長期療養中であっても点滴のお薬がつかないときはお家ですごすことができる環境づくりに取り組んでいます。わたしたち医療スタッフは、お家と病院を行き来することも子どもたちから、お家にいるきょうだいのことをたくさん教えてもらっています。そして子どもたちひとり一人の姿を見て、きょうだいの存在がづらい治療を乗り越えていく上で、とても大きな支えとなっていることを強く感じています。

本田真己子



<ある日の待合室>



< 兄弟姉妹 3 > ～教師の立場からの提案～

子供が病気になったときに何ともいえない立場になる兄弟姉妹について。

闘病生活はとても大変です。特に幼い兄弟姉妹は、病んだ子に全力を傾注しなくてはならない場合、十分な世話を得られなくなると言ってしまうても間違いではないでしょう。病院に両親と共にいくと、必ずしも病棟に入れるわけでもなく、待合で長時間過ごすこととなります。私たち「こどものちから」はそこに手を差し出したいと思っています。学校に通っている子なら、環境が若干変わることでしょう。勉強していてもわからないことがあっても今までのようには両親に聞けないかもしれません。そうであればお手伝いしたいです。病んだ子のことをどうとらえたらいいか困っているかもしれません。そうであれば両親にもいえない悩みを打ち明ける相手になってあげたいです。

大丈夫。あなたは今まで通りのあなたでいていいし、兄弟姉妹の病はあなたのせいではない。きっと良くなるからね。そういうことを静かに確かに伝えたい。そう思っています。

高水英壽

< 免疫アップ法 > ～看護師の立場からの提案～

免疫を上げる為の、いろいろなお話がある中で、今回は想念についてお話ししましょう。

この世界にあるものは全て、人が想像した事で出来上がっています。想いはエネルギーで、すごいもの。日々、どんな想いでいるかにより、年を重ねてお顔や姿勢、立ち居振る舞いや人生にもあらわれます。

人は自分に正直でいるか、実はよく知っています。自分に嘘をつく、何となくイヤな気分になります、不思議ですね。あなたの想いを、なるべく正しく言葉にしましょう。

その言葉のとおり、行動に移してみましょう。

人は想いと言葉と行動が一致している時、力がみなぎり、元気が湧き、清々しく嘘のない自分に、自信がもてるようになります。

言葉に力が宿り、人から信頼されるようになります。

「え～そんな事したら、日常がメチャクチャになっちゃう」

あれ？随分我慢してきましたね、人にニコニコして、心で『このヤロー!!』

なんて思ってますでしたか？

この場合、この『ヤロー!!』が正しいんですよ。日記でも親しい人でも、吐き出したり、自分の中の調和を図るために何が行動してみましよう

これだけで、心が安定し、免疫はとてもよく働きます。

奥山文香

